

山梨県看護協会への入会手続きはお早めに!!
山梨県看護協会会員数 5630人(令和7年8月10日現在)



笛吹市/八田家書院



かんごちゃん

contents

山梨県看護協会 新会長 遠藤 みどり ごあいさつ	2
山梨県看護協会員 6,000 人が目標です	2
令和7年度 理事会メンバー・新役員・職能委員会紹介	3
令和7年度 職能委員会活動報告	4
第47回看護大会(フェスタ看護事業の取り組み報告)	5
特定行為研修に参加して	5
報告 令和7年度 地区支部の取り組み	6~7

特集 外来看護	8~9
うちの職場自慢<その75>	10
シリーズ キャリアアップへの耳寄り情報<No. 11>	10
ナースのママ・パパ奮闘記<No. 62>	11
TOPIC & INFORMATION	11
令和7年度 理事会報告	12
INFORMATION / 編集後記	12

笑顔
スナップ!

笛吹中央病院



地域包括ケア病棟 「笑顔も筋肉もあります」

七夕飾り
患者さんの願いが叶います
ように



2年目フォローアップ研修
「今年は症例検討も頑張っています!」

未来を拓く、 つながり・支えあう看護

山梨県看護協会 会長 遠藤 みどり



会員の皆様におかれましては、日頃より山梨県看護協会の事業推進に深いご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。このたび、山梨県看護協会会長を拝命いたしました遠藤みどりでございます。

これまで看護の発展と地域医療の充実に多大なるご貢献をされた佐藤悦子前会長には心より感謝申し上げます。これまで山梨県看護協会を築いてこられた先人の皆様や佐藤悦子前看護協会長の地域医療への熱い情熱と歩みを大切に継承しながら、次の時代へと力強く前進できるように取り組んでいきたいと思ひます。

現在、看護を取り巻く社会環境は大きく変化しています。少子高齢化の加速、在宅療養や地域包括ケアの推進、災害・感染症対応の継続、そしてICT・AIなど新たな技術の活用といった中で、看護の役割は多様化・高度化しています。そのため、看護職一人ひとりが専門性を発揮しながら、地域や社会の変化に応じて柔軟に対応していくことが、これまで以上に求められています。

このような状況を見据え、日本看護協会は「看護の将来ビジョン 2040～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～」を策定しました。このビジョンでは、看護職の目標を①その人らしさを尊重する生涯を通じた支援②専門職として自律した判断と実践③キーパーソンとしての多職種との協働を挙げ、地域を支える多様な看護の提供体制の構築や、看護職があらゆる場で活躍する社会の実現を目指しています。

このビジョンの実現に向け、山梨県看護協会としても地区支部活動、各委員会活動、そして三職能（保健師・助産師・看護師）間の連携をさらに強化し、情報共有と相互支援を深めてまいります。現場で生まれる気づきや課題をつなぎ、全体として看護の力を高める、その仕組みづくりを進めていきたいと考えております。また、若い世代の育成と、長年経験を積まれた方々の知見の活用という両面から、人材の循環と活躍の場の拡大にも取り組んでまいります。

最後に、看護には人を支え、地域を守る力があります。その力を発揮するためには、私たち一人ひとりが健康で、誇りを持って働ける環境が不可欠であるため、「誰もが働き続けられる環境づくり」に取り組んでいきたいと思ひます。

今後も会員皆様のお力添えを賜りながら、協会一丸となって取り組み、看護の未来をともに築いていきたいと願っております。

今後とも皆様のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

◇ 趣味：ゴルフ、愛犬とのドライブ

山梨県看護協会員 6,000人が目標です

山梨県看護協会と日本看護協会は、看護職の活動を支援する専門職能団体です。

職場環境や労働条件、仕事に見合った処遇改善、生涯学習を通じた資質の向上、主体的なキャリア形成など現場のさまざまな“困りごと”“課題”を解決するための活動を行っています。

皆さまの賛同と応援が力になります。看護職一丸となって取り組みましょう。

入会について

協会 Hp アドレス
<https://www.yna.or.jp/admission/158/>



会員特典

専用サイトにアクセスは
こちらから
<https://www.yna.or.jp/admission/159/>



令和7年度 理事会メンバーをご紹介します

会長	遠藤 みどり(新)	中北地区理事	杉田 俊江(新)
副会長	佐藤 あけみ	中北地区理事	藤原 布美(新)
副会長	矢崎 貴恵(新)	峡北地区理事	上田 聡美(新)
専務理事	小川 忍	峡東地区理事	坂本 明子(新)
常任理事	池田 直子(新)	峡東地区理事	佐野 里美
保健師職能理事	松井 理香(新)	峡南地区理事	小林 緑
助産師職能理事	渡邊 美紀	富士・東部地区理事	長田 美幸
看護師職能理事	井上 勝美	監 事	窪田 久人(新)
准看護師理事	武藤 好世	監 事	一瀬 礼子
中北地区理事	斉藤 寿美	監 事	角田 千春(新)

(新)：新しく承認された役員

会員の皆様の声を活かし、会員と共に歩む活動をめざします。
どうぞよろしくお願いいたします。

新役員ご紹介

※ ①：抱負 ②：趣味



副会長
矢崎 貴恵

①様々な分野で働く看護職のつながりが強化され、力が発揮できる活動を目指し尽力いたします。
②ドラマ鑑賞です。



保健師職能理事
松井 理香

①県下の保健師がつながり、専門性を高めながらいきいきと活動ができるよう皆様と取り組みたいと思います。
②散歩です。



中北地区理事
藤原 布美

①皆様のご指導をいただきながら、役割が果たせるようにがんばります。
②ガーデニングです。



峡東地区理事
坂本 明子

①看護協会と地区支部のパイプ役になるように、努力していきます。よろしくお願いいたします。
②山の中の小さな畑で、野菜栽培



監 事
角田 千春

①理事の皆様方と協力し看護協会事業の円滑な運営に向けて努めて参ります。
②旅行、田舎料理を作る事



常任理事
池田 直子

①常任理事とナースセンター部長の二足の草鞋を履いて頑張ります。
②暑くもなく寒くもない時期限定の海釣り



中北地区理事
杉田 俊江

①皆様との連携を大切にしながら、地域看護の充実に向けて取り組んで参ります。
②温泉・古民家・神社巡り



峡北地区理事
上田 聡美

①協会と地区のパイプ役になれるよう努力していきます。
②温泉でリフレッシュしています。



監 事
窪田 久人

①理税理士の立場から貴会のご発展に協力したいと考えております。よろしくお願いいたします。
②旅行



令和7年度 職能委員会

◆保健師 職能委員会

神崎 由紀	山梨大学大学院総合研究部
戸島 裕子	北杜市役所
宮本 佳代子	山梨市役所
加藤 幸子	忍野村役場
小西 裕子	山梨県教育庁福利給与課
上村 もとみ	全国健康保険協会山梨支部
齊藤 和子	中央市役所
砂田 清美	身延町役場

◆助産師 職能委員会

渡辺 由香	富士吉田市立看護専門学校
登喜 美由紀	富士吉田市立病院
代永 愛美	市立甲府病院
望月 桂子	甲府共立病院
佐々木 弓美	独立行政法人国立病院機構 甲府病院
渡邊 智美	都留市立病院
佐々木 明優美	山梨赤十字病院
長澤 良美	山梨大学医学部附属病院
渡邊 美幸	助産院フジサンバ

◆看護師 職能委員会

雨宮 麻美子	山梨県立中央病院
穴水 美和	山梨大学医学部附属病院
淵井 初夏	しもべ病院
小島 奈都美	巨摩共立病院
横森 美香子	韮崎市立病院
宮崎 尚子	市立甲府病院
荻原 幸子	山梨リハビリテーション病院
富岡 恵	三生会病院
茅野 久美	山梨県立大学看護学部
藤原 恵	かいこま訪問看護ステーション
今村 百合子	サンライフ寿
山口 宏予	富士北麓訪問看護ステーション
古屋 教子	甲州市社会福祉協議会 訪問看護ステーション
秋山 裕子	峡西老人保健センター
幡野 清美	介護老人保健施設サンビューふじかわ

◆推薦委員会

長田 順子	山梨県立中央病院
小坪 真由美	こころの発達総合支援センター
石原 恵子	山梨県立北病院
清水 美果	加納岩総合病院
志村 記子	峡南病院
酒井 梨々	都留市立病院

◆選挙管理委員会

渡邊 あゆみ	山梨県立中央病院
岡部 順子	山梨県教育庁福利給与課
古屋 佳子	白根徳洲会病院
齋藤 菜穂子	春日居総合リハビリテーション病院
河西 美千代	介護老人保健施設ケアセンター いちかわ
三森 順子	大月市立中央病院

令和7年度 職能委員会活動報告

通常総会に続いて開催された令和7年度職能別交流集会において職能委員ごとに、更なる専門性を発揮していくための活動方針を掲げました。
会員の皆さまには各職能委員会活動へのご支援ご協力をお願いします。

保健師 職能委員会

意欲的に保健師活動を推進していくために

保健師職能委員長 松井 理香



令和7年度保健師交流集会は、日本看護協会教育研究部長の太田真里子先生を講師に迎え、「語り場カフェ～頑張る自分とみんなにエールをおくろう!～」をテーマに7月12日に開催しました。前半の講義では、日々の活動を振り返り、ともに頑張る仲間と想いを共有、共感し活動

することが、楽しみながら取り組む力、挑戦する力につながることで、活動から学んだことを実践に活かす好循環を作り出すことが大切であることを学びました。後半は同世代の仲間と保健師になってよかったことや将来のビジョンなどを語り合い、共有し、それぞれの保健師が明日からの力を得ることができた研修となりました。

今年度の委員会活動目標は①健康な生活の実現に向け、保健師の専門性を高め、役割が発揮できるようにする②保健師活動の「見える化」を強化する③保健師間の連携を強化しネットワークを推進するの3つを掲げ、様々な組織で働く保健師のつながりを大事に委員皆で力を合わせて取り組んでいきます。今年度も職能委員会活動への御支援、御協力をお願いします。

少子化の中で助産師として 様々な場所で専門性の発揮と 周産期医療システムの充実

助産師職能委員長 渡邊 美紀



少子化が進む現代において、助産師が病院、診療所、助産所、行政、教育機関など様々な場所で専門性を発揮し、妊産褥婦により手厚い支援を提供する体制づくりを進めています。助産師が周産期や女性の健康とその家族への支援能力を十分に発揮できるよう、知識・技術の向上とともに助産師らしさを高めることを目指しています。

助産師 職能委員会

「県民の健康な生活の実現に貢献する」ため、関係団体と協働し、地域の医療機関、行政機関、多職種団体との連携を強化し、「いのちの授業」を中心に、県民全体の健康増進に寄与する活動を展開しています。また、山梨県の周産期の現状を把握し、母子のための安心・安全な地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいます。少子化の中でも質の高い周産期医療を提供できる体制整備を目指し、切れ目のない支援体制の確立に努めていきたいと思っています。

看護師 職能委員会

認知症と共に生きる時代における看護職の役割再構築

看護師職能委員長 井上 勝美



2025年には、認知症患者が700万人を超えると予測されている中で、令和7年度の交流集会は「認知症と共に生きる～当事者の気持ちに寄り添い、生きる力を引き出す関わりとは～」をテーマに開催されました。この集会では、39歳でアルツハイマー認知症と診断された当事者の方を講師に迎え、認知症になっても「その人らしさ」を大

切にし、人の声に耳を傾け、その想いを共に考え寄り添うことの重要性を学びました。看護師は支援者であると同時に、本人の力を引き出すパートナーとして関わる姿勢が求められており、これは看護の原点であると再認識する機会となりました。

看護師がより深く患者の生活に寄り添いながら、その力を引き出す職場環境から見直していくことが重要だと考えます。

領域Ⅰでは病院で働く看護職の職場環境における課題を情報収集・共有し、様々な視点からの看護職の職場環境について検討していきたいと考えます。

領域Ⅱでは、課題の明確化と対策の検討・意見集約し、認知症を含む実践力の強化と更なるネットワークの構築と看護職のスキルアップを図っていくことを目指していきます。

今年度も委員会活動へご支援ご協力をお願いします。

第47回 看護大会

一般会員の参加を得て「看護大会」を看護週間の5月16日にリッチダイヤモンド総合市民会館（甲府市総合市民会館）、総勢 230 人の参集により開催いたしました。

表彰式では、看護功労者 20 人と県民の看護師さん 6 人に表彰状と記念品が贈られました。その後の記念講演会では、創価大学看護学部非常勤講師 鈴木恵子様により、「自分の施設が被災したらどうする？」～看護職として何ができるか考える～の演題でご講演をいただきました。



表彰者のみなさん

令和7年度 看護功労者知事表彰

坂本 明子	笛吹市役所	土屋真理子	山梨市立牧丘病院
田中 京子	上野原市役所	蓮沼智津子	山梨大学医学部附属病院
保坂 由美	韮崎市役所	平賀奈津子	小沢外科内科医院
今泉 光代	地方独立行政法人大月市立中央病院	廣田 直美	峡南医療センター企業団富士川病院
岩澤 久美	山梨大学医学部附属病院	保坂 栄子	市立甲府病院
大谷 昌弘	医療法人銀門会	前島由里子	山梨県立中央病院
小澤真寿美	恵信梨北リハビリテーション病院	山口 勝美	訪問看護ステーションほっと・ほっと韮崎
尾嶋千恵子	東山梨訪問看護ステーション	山田かつ美	上野原市立病院
梶原 辰美	身延町早川町組合立飯富病院	山田香百合	葉袋整形外科医院
坂本眞佐美	医療法人八香会湯村温泉病院	渡邊 清美	市立甲府病院

第30回 県民の看護師さん

伊藤 由美	なでしこ皮フ科
広瀬 友美	ゆうぎ訪問看護ステーション
河西 由貴	共立介護福祉センターいけだ
川村優紀子	山梨県立中央病院
武井 里美	甲州市社会福祉協議会訪問看護ステーション
沼口 香織	山梨大学医学部附属病院



特定行為研修に参加して

県内で初めて、看護協会立訪問看護ステーションに勤務している看護師が、特定行為研修を修了しました。二人の研修受講の様子やこれからの活動に対する想いを紹介します。



特定行為研修を受講して今思うこと

貢川訪問看護ステーション 板橋 舞

研修では、単に特定行為の技術を学ぶに留まらず、看護師として必要な知識を深化させることができる体験となりました。また、医師の思考過程も理解でき、視野の広がりを感じています。自分の看護に自信を持てた、有意義な研修でした。



特定行為研修終了後の課題

ゆうぎ訪問看護ステーション 守谷 奈見

山梨県で初の訪問看護師による特定行為研修修了者となりましたが、制度の周知や医師を始めとした関係機関との連携、実践体制の構築等、多くの課題があります。研修での学びを地域の皆様に還元できるように努めて参ります。

峡北

変化の時代だからこそ地域の看護職の連携を広げて

峡北地区支部長

西 純子



峡北地区支部の令和7年度定期総会での記念講演は、三枝亭二郎師匠の出前落語でした。笑いの中に少子高齢化や賃金格差など現代社会が反映されたお話は、笑いの力と共に社会課題を考える機会となりました。7月には、「人生100年時代を自分らしく生きる」をテーマに市民公開講座を開催し、鎌田實先生、泉宗美恵先生の講演が行われます。また一日まちの保健室活動、

ACP普及活動や管理栄養士と連携してフレイル予防なども行う予定です。今後の「自然災害対応研修」や「その人らしい暮らしを支える事例検討会」では、様々な立場での看護職の意見交換を計画しています。看護現場のニーズや社会情勢の変化に即した事業活動を通し、顔の見える連携を広げ、互いに支え合える地域づくりに貢献できるよう努めていきます。ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



報告

地区支部の取り組み

各地区支部の活動について紹介します。
各地区の特性に合わせた取り組みが実施されています。
会員の皆さまのご理解とご協力をお願いします。



峡南

地域と共に看護の力を未来へ

峡南地区支部長

河西 美千代



峡南地区支部では地域に根ざした看護活動を目的として、地域の皆様の健康と安心を支えるための活動を展開しています。地域医療の発展と医療職の皆様の専門性向上に貢献できるよう、非会員の皆様にも開かれた情報提供を積極的に行うとともに、地域全体の健康リテラシー向上に努力してまいります。

今年度の各種研修の一つに、災害発生時の医療支援体制の構

築に焦点を当てた内容を提案し、地域全体の災害レジリエンス向上に努めてまいります。またその他各種イベントに関しても、皆様のご意見を積極的に伺いながら会員の皆様、地域の皆様、非会員様も取り込み、対話を大切にし横のつながりを強化して取り組んでまいりたいと思います。地区支部役員一同、看護の未来を築けるよう一丸となり活動に取り組んでまいります。引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。



つながりが支える職場づくり ～支部連携と環境改善の 継続を目指して～

峡東地区支部長

一瀬 貴子



峡東地区支部では、看護職が安心して働き続けられる職場環境の整備を目指し、研修や情報共有の場づくりに取り組んでいます。

今年度第1回目の研修会は、定期総会の記念講演として「働きやすい環境づくり～ハラスメントについて学ぶ～」と題し、樋口しのぶ先生よりお話を頂きました。参加者からは、ハラスメン

トは職場全体の問題であり、日頃からの適切なコミュニケーションと心理的安全性の確保が重要であることや、講義内容を正しく理解し、防止に向けて行動していきたいという前向きな意見が多く聞かれ、看護職の定着とメンタルヘルス支援に向けた意識向上の機会となりました。

支部では今後も、看護職が長く働き続けられる環境づくりと地域に貢献する人材の育成を目指し、活動を継続していきます。活動へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



峡東

中北

看護職の Well-Being を高める地区支部活動を目指して

中北地区支部長

望月 富士穂



5月22日、中北地区支部通常総会の記念講演に、Aroma & Esthetics wrightia ～ライティア～代表取締役 帯刀久栄先生をお招きし「手のひらから、ほっと一息 ～香りで紡ぐ癒やしの時間～」と題して講演頂きました。参加者同士がペアとなり、ストレスを和らげるラベンダーオイルを手に取り、ハンドトリートメントを実践しました。ペアとなった看護職同士の会話も弾み「あーいい匂い」「あー気持ちいい」と目

を細め、日頃の疲れが吹っ飛んでいくようでした。まさにアロマの香りとタッチングの効果抜群の癒やしの時間となりました。先生からは、他者をケアする前に自身をケアする重要性、他者をケアすることで自身のケアに繋がること等、多くの学びを頂戴しました。今後も中北地区支部では、看護職の要望に沿う研修企画に努めて参ります。(乞うご期待)



看護職の連携を強化して、 地域住民の健康と福祉の 増進を目指して

富士・東部地区支部長

渡辺 久子



富士東部地区支部では、「地域の看護職の連携を強化し、地域住民の健康と福祉の増進に寄与する」ことを目的に活動しております。令和7年度通常総会では、在宅医療の現場で命を見守る女性医師の姿とその仲間を通して終末期医療、尊厳死等人生の終末期にどのように向かいあうか描かれている映画を記念講演で上映しました。映画を観て涙し、命の尊さや大切さ、終末期医療、在宅医療のあり方や家族支援を考える機会となり

ました。参集したことで感動を共にしコロナ禍で中断した集まることの大切さと重要さに気づきました。今年度も富士山噴火をテーマにした「看護のケア向上研修」やヨガと座禅を取り入れた「リフレッシュ研修」「看護連携継続の研修」等計画しています。みな様の声を反映した支部活動ができるよう役員一同努力して参りますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

富士
東部



外来看護

外来一元化

山梨県立中央病院 患者支援センター 横内 まゆみ



近年、医療技術の進歩や在院日数の短縮により、入院中に行われていた治療が外来へと移行し、外来看護の負担と医療依存度は高まっています。こうした中、当院では2019年より外来と病棟の一元化を導入し、患者を外来受診時の「点」ではなく、「線」から「面」で捉えていけるケア体制の検討を行ってきました。これは、外来看護の切れ目ない連携と看護資源の有効活用という重要性に対応するためです。実際に、部門間の情報共有と連携カンファレンスにより、意思決定支援が必要な患者には医師・病棟看護師・他部門との連携を図り「その人らしさ」を大切にされた支援が行えるよう取り組んでいます。また、患者が退院後、少しずつ日常を取り戻していく中で、外来受診が定期的な診察だけでなく、自分のことを理解してくれている看護師に会える安心感と、また次の外来日まで頑張ろうという励みに繋がる、そんな外来でありたいと願っています。心理的支援などの細やかな配慮は、目に見えにくくとも確かな「看護の価値」として、安心感の醸成やセルフケアの向上、再入院の予防など、医療の質向上に繋がっていくのではないかと思います。



初動の早さは、救命士との協働の結果！

白根徳洲会病院 看護師長 望月 まど香



2024年、当院に救命救急士が入職しました。当院の救命士は、人柄もよく、救急外来の看護師にも協力的で、いつも一緒に患者さんに対応しています。

救命士と業務分担する内容は、院内でさまざまな委員会で検証されています。現在救命士はバイタルサインの測定・静脈路確保・検査搬送・救急車への同乗を行っていますが、今後はさらなる技術の獲得へ向けて、研修が組まれています。

私達が救命士と救急対応を行い一番変化したことは「初動の早さ」です。救急搬送患者さんが重なる場合でも、情報共有を行い、ER入室時からの役割分担を明確にして、スムーズに受け入れが来ています。そして、看護師はタイムリーな記録が可能になり、残業時間が減りました。

このような中規模の病院に、救急救命士が在籍し、看護師と協働することにより、より患者さんへ質の高い看護が提供できる実感をしています。



入院期間が短くなっており、外来で患者さんとの関りが重要となっています。
今回は、4つの施設の外来看護の取り組みを紹介します。



糖尿病療養士によるフットケア外来の重要性

加納岩総合病院 日本糖尿病療養士 田村 るり子



「今日は、先生からもう少し運動をした方がいいと言われたよ」という患者さんの話を聴きながらフットケアを行っています。診察の後にフットケアを行うことで、医師から指導されたことを患者さん自身が振り返り「こうしてみようかな」「もう少しがんばろうかな」を引き出し、患者さんのセルフケアを進めていく貴重な機会だと考えています。

私は、足から患者さんの全身を見ることを心掛けています。

- ① 足のケアを通じて生活を理解する
- ② 患者さん自身が自分の足に関心を持てるようにする
- ③ 共にケアを継続していく大切さを実感できる。

これらのことが健康の人と変わらない QOL（生活の質）を維持し、足病変を悪化させることなく自分の足で歩き続けられる、糖尿病治療の最終目標達成になると考えています。

いつでも、患者さんの話に耳を傾け、工夫や努力を称賛することで治療継続の意欲へつなげていき「治し支える」時代に則した外来ケアをおこなっていきたいと考えています。



乳腺看護師外来発足に至る経緯と現状

峡南医療センター企業団富士川病院 乳がん看護認定看護師 黒澤 貴子



乳がんは治療の選択肢がとても複雑な上に、治療の有無を患者自身が決めなければならず、治療においても乳房喪失や薬物療法の副作用によるボディイメージの混乱が生じやすいです。また、乳がんの治療期間は初期治療で5～15年、再発・転移が認められた場合はその限りではなく、サバイバー期間が長いなどの特徴があります。

患者や家族の想いを受け止め治療に活かしていくことは大切ですが、通常の診療時間内では十分に話を聞くことが難しいと感じていました。そのため、患者や家族が安心して治療が受けられるよう、困ったときに相談できる場として2021年に乳腺看護師外来を立ち上げました。主な活動内容は患者や家族からの相談やアピランスケア指導です。患者からは術式選択や術後の下着に関すること、家族からは終末期を迎える患者への対応などの相談実績があります。今後の活動は乳がん看護認定看護師資格取得直後のため試行錯誤中ですが、乳がんに関する相談はいつでもお受けしていますので、お気軽にご相談ください。



こんにちは 峡南病院です

峡南病院 志村 記子

私たちの働く峡南病院は西に大法師公園、東に富士川が流れる峡南地域の北側にあります。20代から70代までの幅広い年代の看護師が活躍し、ライフステージに合った働き方ができるよう、互いに協力し合いながら働きやすい職場づくりを心掛けています。

峡南地域の高齢化が進む中、病院の理念を『常に患者さんと共に生き、地域の皆様と共に歩む病院を目指します』と掲げ続け、病棟を7月から地域包括ケア病棟とし、入院生活が快適に、そして安全に安心して過ごせるよう病院全体をフルリフォームして再出発をしました。

病棟、外来、透析、訪問診療の看護師が連携を図り、退院後の外来受診や訪問診療等が途絶えることがないよう看護部全体で取り組んでいます。また、併設している訪問看護ステーションの協力を得ながら住み慣れた地域でその人らしく暮らせることを目指しています。

病院自体が大きく変わろうとする今、不安と期待を抱えながら看護職員たちは病院の理念を胸に、職員全員の顔が見えすぎてしまうほどの小さな小さな峡南病院の中で、毎日患者様に寄り添いたいとパタパタと動き回っています。



北杜市に医療介護複合施設誕生！

まいほーむかいこま 藤原 恵

まいほーむかいこまは、北杜市南部に位置する看護小規模多機能型居宅介護事業所（以下、看多機）です。令和7年6月で、開設して1年を迎えました。当事業所の利用者の平均年齢は89歳と高く、在宅酸素、留置カテーテル、吸引、インスリン、ターミナルなど医療を必要とする方も多く利用されています。同敷地内には、武川診療所を始め、歯科診療所、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーションがあり体調やサービスのこともいつでも相談しやすい環境が整っています。看護師は、体調の変化に気を配り、必要時には診療所と連携し対応しています。また歯科診療所は摂食嚥下の相談にも対応してくれています。医療機関やサービス事業所が集まっていることで、連携が図られ、安心して医療依存度が高い利用者も受けることができ、看多機としての果たす役割を感じています。

開設2年目に入り、これからも医療依存度の高い利用者の増加が予測される中で、さらに地域のニーズに応えられる看多機を目指し奮闘していきたいと思っています。



SERIES キャリアアップ への 耳寄り情報

No.11

ファーストレベル研修の「公開講座（講義の聴講）」のご案内

山梨県看護協会では、平成9年よりファーストレベル、平成11年よりセカンドレベルを開講し、多くの修了者が県内で活躍しています。ファーストレベルはヘルスケアシステム論、組織管理論、人材管理、資源管理、質管理、統合演習の6教科目で構成されており、看護管理の基本知識を習得します。

本協会では、ファーストレベル、セカンドレベル課程において、「聴講制度」を設けています。「聴講制度」とは、本協会が指定する科目の中から選択し、研修生と一緒に受講する制度です。レベルアップを図りたい等と考えている方はぜひ聴講制度をご活用ください。聴講の受講料は1講義（1日）につき3,300円です。詳細については、本協会ホームページより「認定看護管理者教育課程」にお入りいただき、「公開講座（講義の聴講）」のご案内を参照ください。



山梨県看護協会
教育部長

岡本 理恵

働き続けるために…

ナースの ママ・パパ 奮闘記

明るく！ 楽しく！！ 元気よく！！

山梨大学医学部附属病院 ER(救急外来・血管撮影室・内視鏡室・透析室)

副看護部長 山本 雅弘

タイトルはシンプルですが私が大切にしているモットーの1つです。

山梨に来て20年、看護師になって16年、妻が同じ病院で働くようになって14年、親になって10年。職場では副師長として様々な役割を担えるようになり、家庭は“おそらく”夫婦円満であり、子ども3人のパパとなりました。

今の山本家があるのは、家族は勿論、子育てに理解・支援のある職場や共に働くスタッフの皆さんのお陰だと感謝しています。本当にありがとうございます！

子育ても仕事も思い通りにいかない事ばかり。今日は早く帰るぞ！と意気込んだ時に限って救急対応…、溜まっている仕事を片付けよう！と思うと保育園からの連絡…皆さんもそんな経験ありませんか？ネガティブになりがちですが、そんな時こそどんな事も自分の糧になると捉えるようにしています。「もう少し仕事を頑張りなよ」「子どもや家族との時間を大切にしてくれ」と言われているのだなと。しかし、そう捉える事が出来るのは、常に家族や職場スタッフの理解・支援があるからこそ。

“自分だけ”ではなく、沢山のの人に支えられ「明るく！楽しく！！元気よく！！！」子育てや仕事が出来ている事に感謝しながら、また今日も1日頑張ろうと思います。



TOPIC & INFORMATION

「地域をつなぐ看護の力」

～県内唯一の地域包括医療病棟へのチャレンジ～

地方独立行政法人 大月市立中央病院

看護部長 井上 勝美



大月市は、山梨県東部に位置する人口21,087人(令和7年7月現在)高齢化率45%の市です。当院は、地域の中核病院としての役割を果たすために、急性期病棟を令和6年9月より県内唯一の「地域包括医療病棟」として運営しています。看護部を中心に情報科・リハビリテーション科・医事課と連携を図りながら、看護必要度・バーセルインデックス等のデータを収集・分析などを行った結果で開始することができました。この病棟では、急性期の治療をしながらも早期から在宅復帰に向けて、リハビリの開始や栄養管理など医療・看護・リハビリなどの多職種と連携を図りながら支援を提供していく体制を整えています。

看護部では患者様の生活背景を踏まえたアセスメントを行い、個別性の高い支援を重視した退院調整と看護計画を実践しています。また、地域住民や関係機関と連携を深めることで、退院後も継続的かつ包括的なケアが実現できるよう目指しています。

今後も地域に根差した看護実践を通じて、安心して暮らし続けられる地域社会の実現に貢献していきます。

令和7年度 理事会報告

以下について承認されました

第1回 令和7年4月8日(火)

1. 令和7年度通常総会の運営について
2. 令和8年度日本看護協会通常総会代議委員・予備代議委員の推薦について
3. 令和7年度看護大会及び看護大会祝賀会について

第2回 令和7年5月13日(火)

1. 令和6年度事業報告について
2. 令和8年度日本看護協会通常総会代議委員・予備代議委員について
3. 令和7年度通常総会会員への招集及び通知について
4. 令和7年度通常総会の運営について
5. 令和7年度常任委員会・特別委員会・認定看護管理者教育運営委員会の委員の選任について
6. 定款細則及び職能委員会規則の一部改正について
7. 令和7年度保健師交流集会プログラムについて
8. 令和7年度助産師交流集会プログラムについて
9. 令和7年度看護師交流集会プログラムについて

第3回 令和7年6月4日(水)

1. 令和7年度山梨県看護協会通常総会運営・担当役割等について
2. 令和7年度第4回理事会について
3. 令和6年度決算報告について
4. 令和6年度決算確定に伴う令和7年度資金収支予算及び収支予算の補正について

第4回 令和7年6月20日(金)

1. 会長、副会長、常任理事の選定について
2. 会長代行及び専務理事代行優先順位について
3. 常勤理事の月額報酬について
4. 業務執行理事の業務分担について
5. 令和8年度総会日程について
6. 令和7年度総会議決事項等の会員への周知について

山 梨 県 看 護 協 会 I N F O R M A T I O N

令和8年度 山梨県看護協会通常総会の日程が決定しました！ 令和8年6月19日(金) 13:00～16:30

■2025年度山梨看護学会のご案内

学会開催日時：2025年11月29日(土) 来館による一部公開収録

WEB公開予定：2025年12月8日(月)～2026年1月9日(金)

学会テーマ：「看護のちから ～看護の原点を見つめなおす～」

内容(予定)：◇ 演題発表
◇ 特別企画(特別講演とディスカッション)
◇ 一言写真「私たちの職場自慢」

☆企業展示や食ブース・癒しブースも設置予定です。

☆詳細は、山梨県看護協会ホームページ・学会のご案内・ポスター等をご覧ください。多くの方の参加をお待ちしております。

■山梨県看護協会 三職能委員会合同研修会

開催日時：令和7年11月1日(土)午後1時30分～

講師：川嶋みどり先生

※2回目の来県になります。DX化が推進されていますが、改めて看護の本質を学び、看護を語る機会としたいと考えています。詳細は決まり次第お知らせしますので予定してください。

■看護協会立訪問看護ステーション等組織改編について

今年10月1日から看護協会立訪問看護ステーションとホーム

ヘルパーステーションの事業所を改編します。

荒川訪問看護ステーションを9月30日で閉鎖して、ご利用者さんと職員は、甲府市内の貢川訪問看護ステーションとゆうき訪問看護ステーションへ異動して訪問看護業務を継続します。

また、荒川ホームヘルパーステーションは、ゆうき訪問看護ステーション内へ移転し名称をゆうきホームヘルパーステーションに変更して訪問看護業務を継続します。

今後も、在宅で療養する皆様が安心して療養生活が送れるよう看護と介護で支援してまいりますので皆様のご理解とご指導をお願いいたします。

お気に入りの写真

キャンプをとことん楽しみたい！

お気に入りのハンモック。個人輸入しました。お気に入りの近ヶ坂キャンプ場で日ごろの疲れを癒しています。

投稿者：矢竹 正憲
(都留市立病院)



※このコーナーでは、会員の皆様から「お気に入りの一枚」を募集しています。ベッドに限らずご提供よろしく願います。
送信先：senm@yna.or.jp 広報担当

【笑顔スナップ】「笛吹中央病院」

笛吹川のほとりに位置する当院は、災害拠点病院及び2次救急指定病院として「地域に信頼される病院」を理念に開設されました。患者さんに合わせた細かな心配りができるよう、看護師が活き活きと働いています。



編集後記

秋は、「敬老の日」、「十五夜」、「運動会」などたくさんイベントがあるので楽しみです。

秋はおいしい食べ物がたくさんあります。朝晩と寒暖差が激しい時期ではあるのでたくさん食べ過ぎて体調を崩さないように気を付けてお過ごしください。